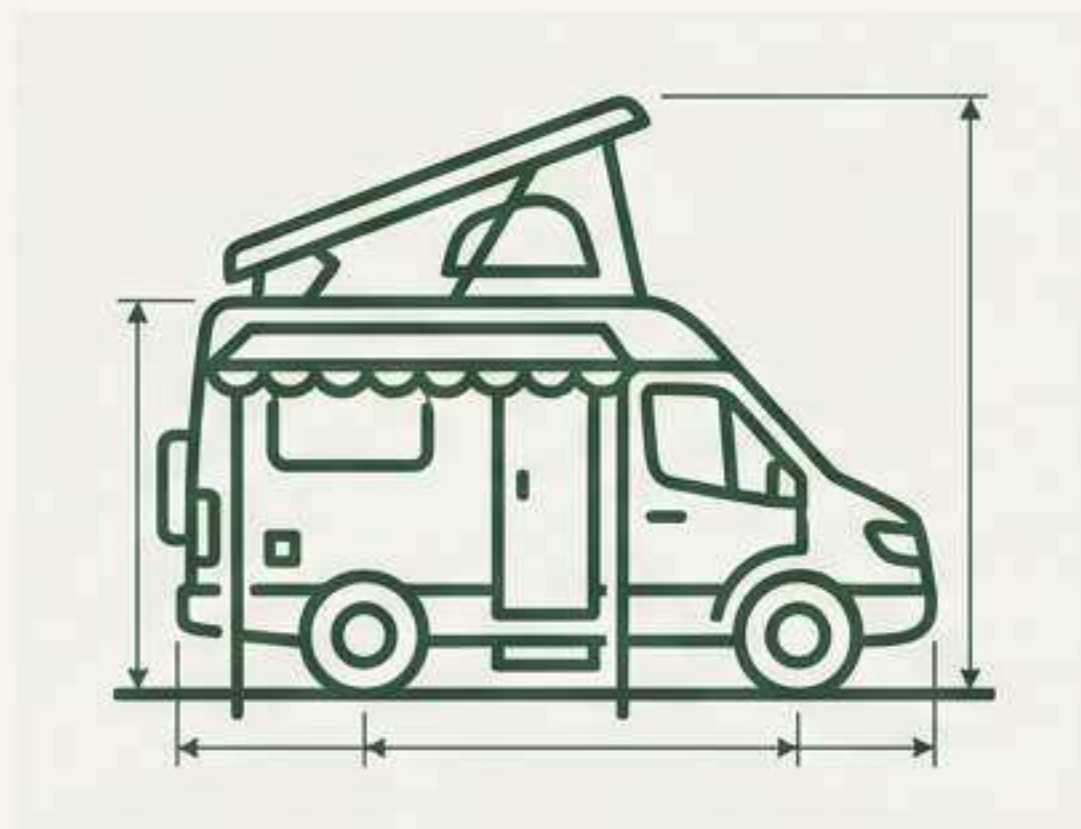


複雑な規制を解説する： このガイドの目的と構成

このガイドは、国土交通省が定める特殊用途自動車（8ナンバー）の登録に必要な「構造要件」を、専門家向けに分かりやすく解説するものです。各車両タイプごとに要件を整理し、図や具具体的な数値を用いて、法令のポイントを明確にします。



I. キャンピング車



II. 放送宣伝車



III. キャンピングトレーラー

PART 1: キャンピング車

キャンピング車の定義と基本要件

「車室内に居住してキャンプをすることを
目的とした自動車」

これより、キャンピング車として認められるための
「就寝設備」と「水道・炊事設備」に関する
具体的な構造要件を解説します。

要件①：就寝設備の数と寸法

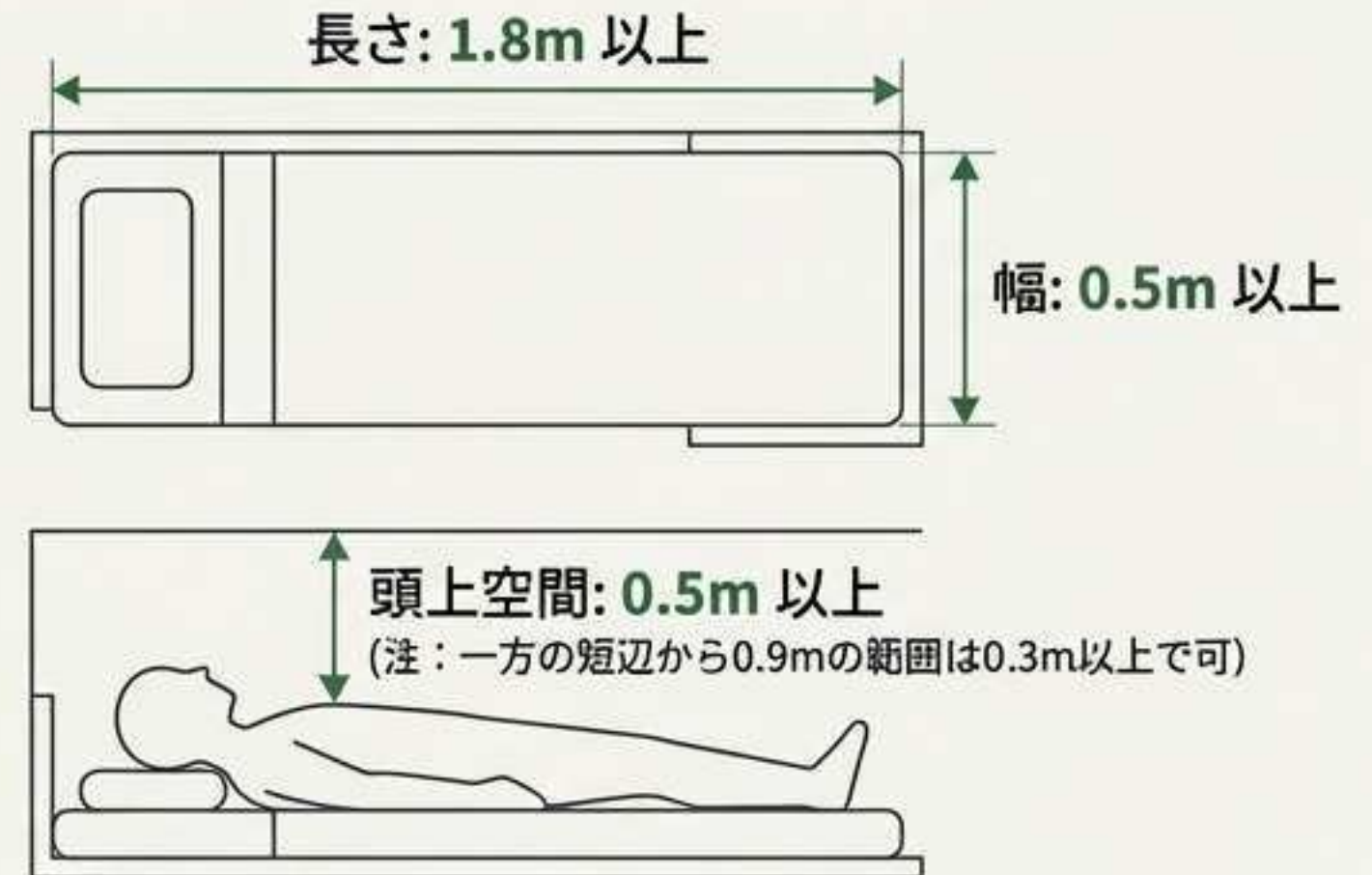
就寝定員



乗車定員の **1/3** 以上（端数切り上げ）

Exception: 乗車定員3名以下の場合は **2** 名以上

大人用寝台の寸法



留意事項：子供用寝台の換算

大人用寝台2名分以上を有する場合、「子供用寝台2名分」を「大人用寝台1名分」と見なすことが可能。

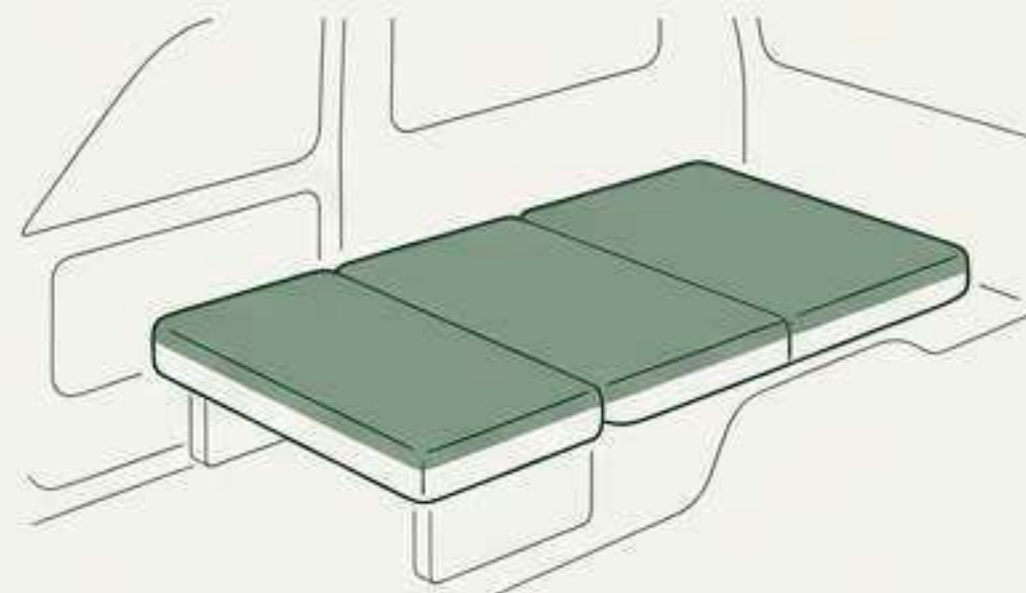
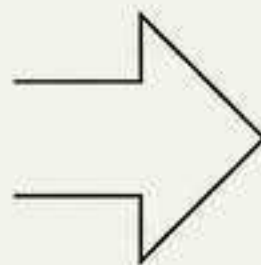
子供用寝台寸法：長さ1.5m x 幅0.4m、頭上空間0.4m以上。

特殊ケース：座席と兼用する就寝設備

就寝設備は原則として座席と兼用不可。ただし、以下の要件を満たす場合は例外的に認められる。



Step 1: 座席状態 (Seat Mode)



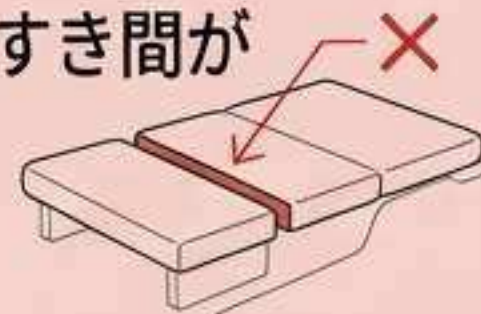
Step 2: 就寝状態 (Bed Mode)

Key Requirements

- ✓ 要件 A: 就寝設備になることを前提に製作されていること。
- ✓ 要件 B: 就寝状態にした際に、上面全体が「連続した平面」を作ること。

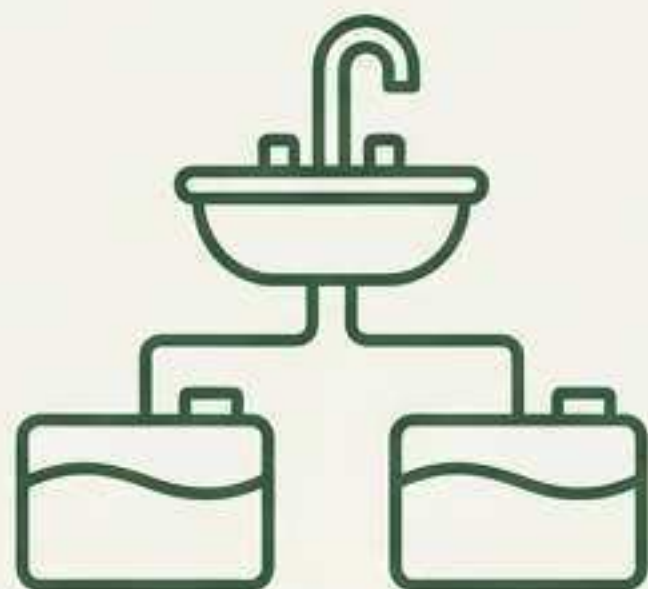
非該当の例

- ✗ 通常の乗用車・貨物車用に製作された標準座席。
- ✗ 転換した際に、つなぎ目に穴やすき間が
きる構造のもの。



要件②：水道設備と炊事設備

水道設備

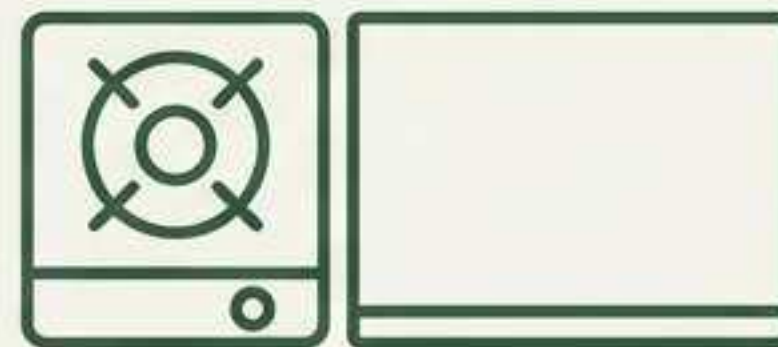


給水 (Supply): **10L** 以上の水を貯蔵できるタンク

排水 (Drainage): **10L** 以上の排水を貯蔵できるタンク

構造 (Structure): タンクから車室内の洗面台等へ給水
できること

炊事設備



調理台 (Countertop): **0.3m x 0.2m** 以上の平面を有する

熱源 (Heat Source): コンロ等により炊事ができること

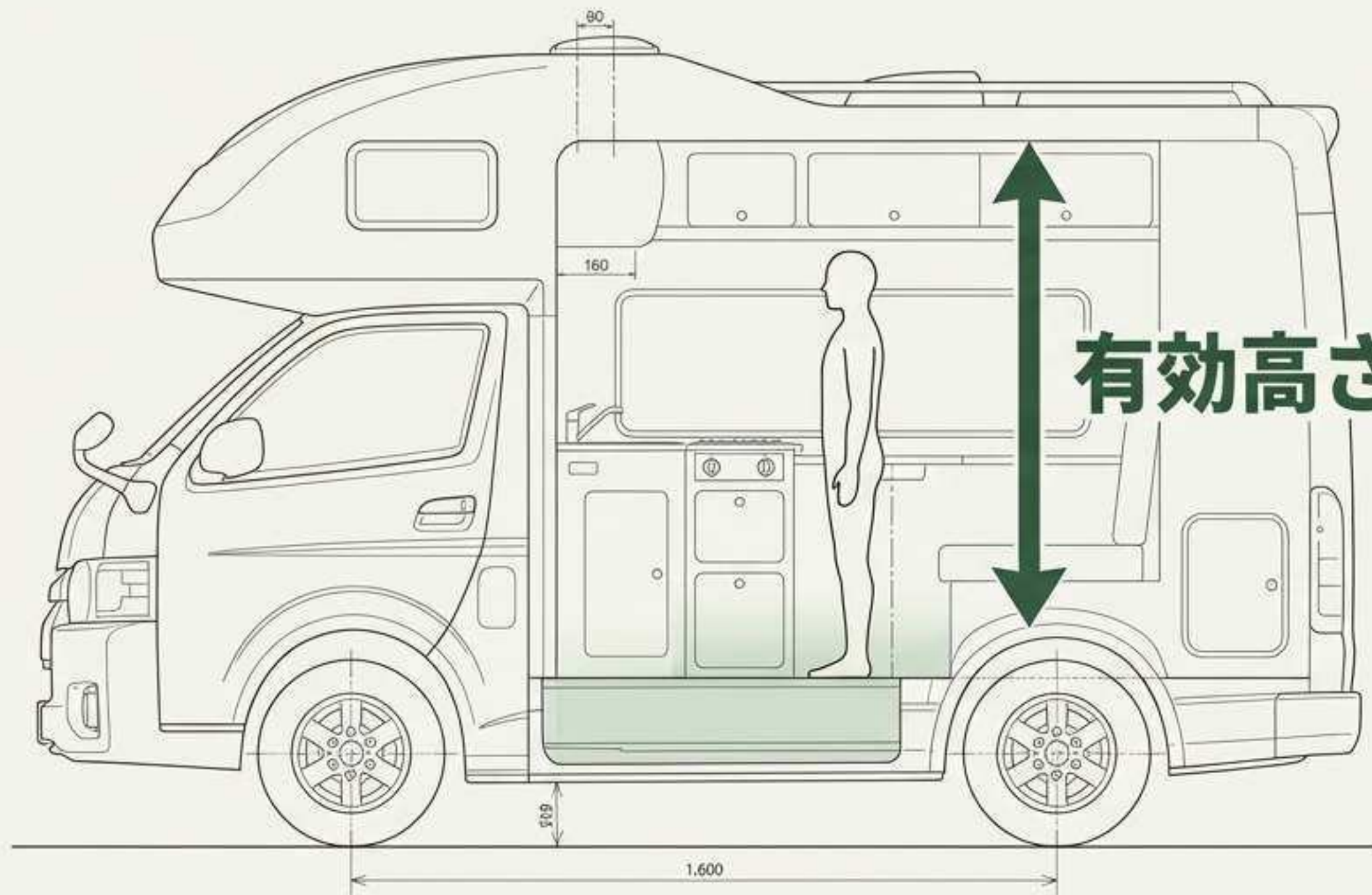
安全要件 (Safety): 十分な耐熱・耐火性、換気性能、燃料
タンクの安全な設置

留意事項：取外し可能な設備について

水タンク等が専用の設置場所（他の部位と明確に区別できる）を有する場合は、取外し可能な構造でもよい。

設備の使用空間要件：有効高さ1,600mmの確保

水道設備の洗面台等と炊事設備の調理台・コンロ等は、車室内で容易に使用できる位置にあること。



有効高さ 1,600mm 以上

留意事項：拡張式屋根（ポップアップルーフ）の扱い

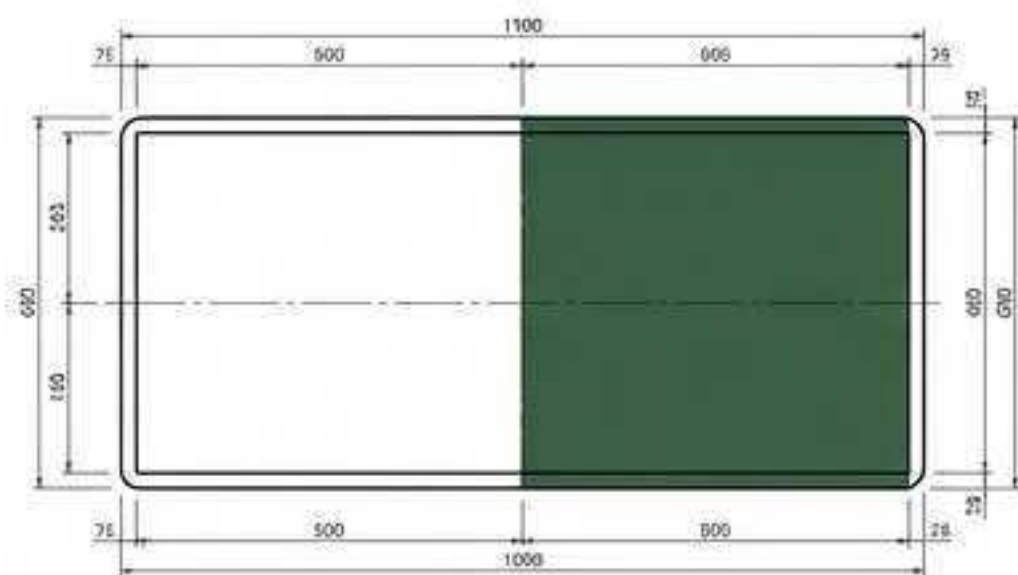
キャンプ時に車室を拡張できる構造（ポップアップルーフ等）の場合、展開した状態で有効高さ1,600mm以上を確保できていれば要件を満たす。



上級編：「特種な設備の占有する面積」の計算方法

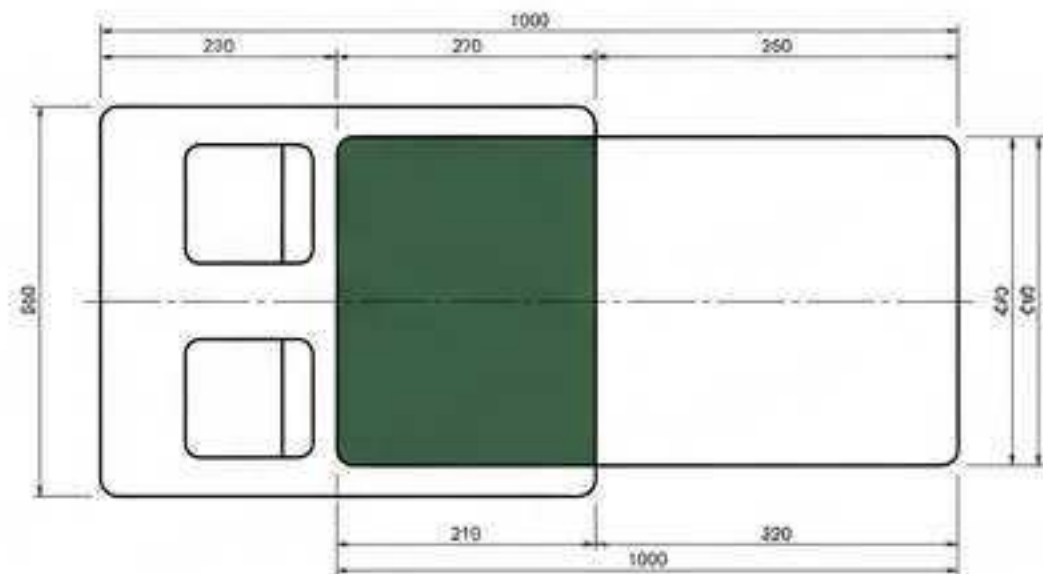
車両の用途判定に関わる「特種な設備の占有する面積」には、特定の条件下で以下の面積を加算・算入できます。

計算ルール①：座席兼用寝台（Combined Seat/Bed）



[兼用部分の面積] x 1/2

計算ルール②：格納式寝台（Retractable Bed）



[座席と重複する面積] x 1/2



隔壁で区分された
浴室設備



隔壁で区分された
トイレ設備



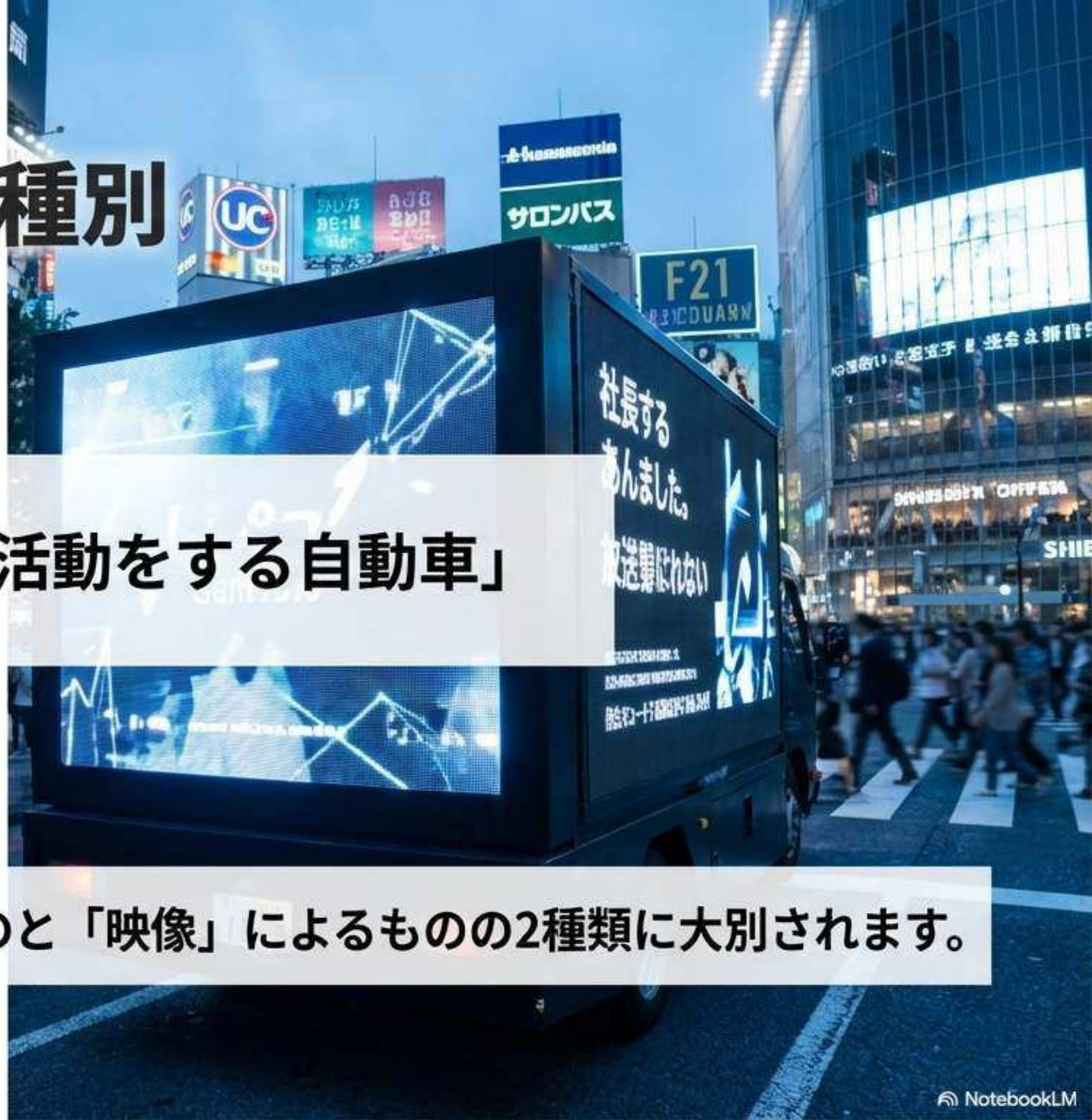
二層構造の上層部にある
就寝設備（条件あり）

PART 2: 放送宣伝車

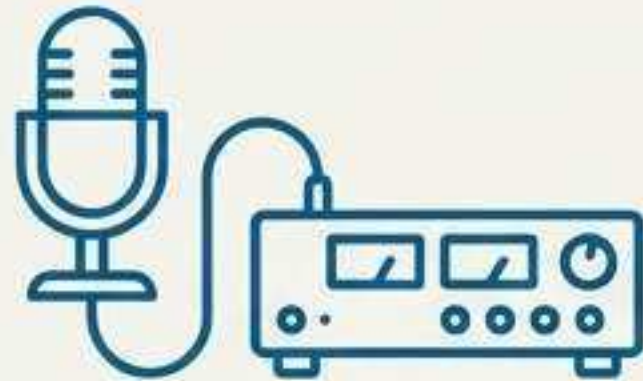
放送宣伝車の定義と種別

「放送宣伝活動をする自動車」

放送宣伝車は、主に「音声」によるものと「映像」によるものの2種類に大別されます。それぞれの構造要件を解説します。



種別①：音声による放送宣伝車の構造要件



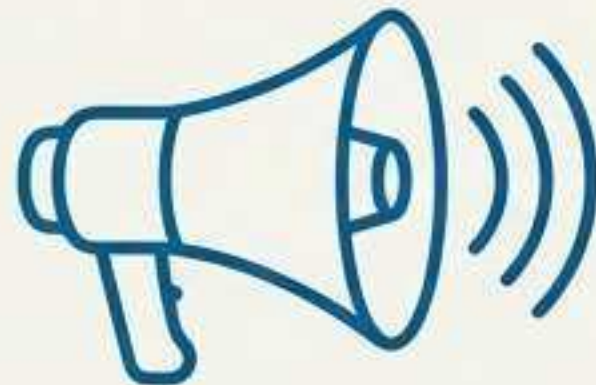
放送設備

車室内で操作可能な調整装置・マイクを装備。



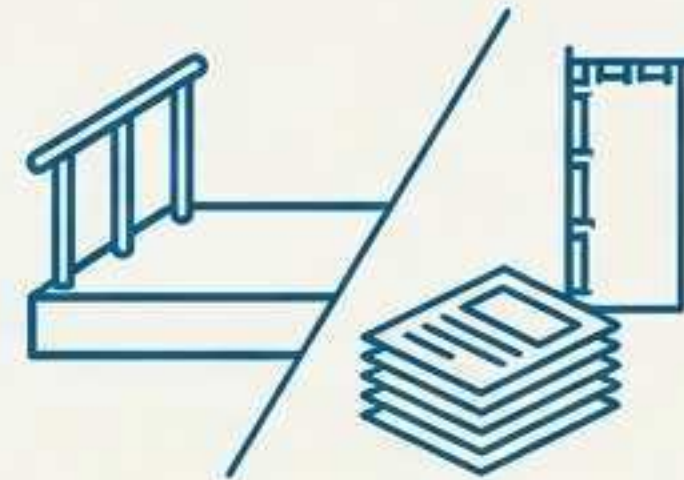
放送者用の座席

固定された座席の床面から上方1,200mm以上の空間を確保。



拡声器

車体の外側に、少なくとも前後方向を指向した拡声器を設置。



ステージ又は資材置場

演説用のステージ、又はビラ・ノボリ等を収納する専用置場のいずれかを有すること。

留意事項：該当しない例

- ・ルーフラックやトラックの「あおり」は「ステージ」や「手すり」には該当しない。
- ・ボンネット内や車室内に設置された拡声器は「車体の外側」の要件を満たさない。

種別②：映像による放送宣伝車の構造要件

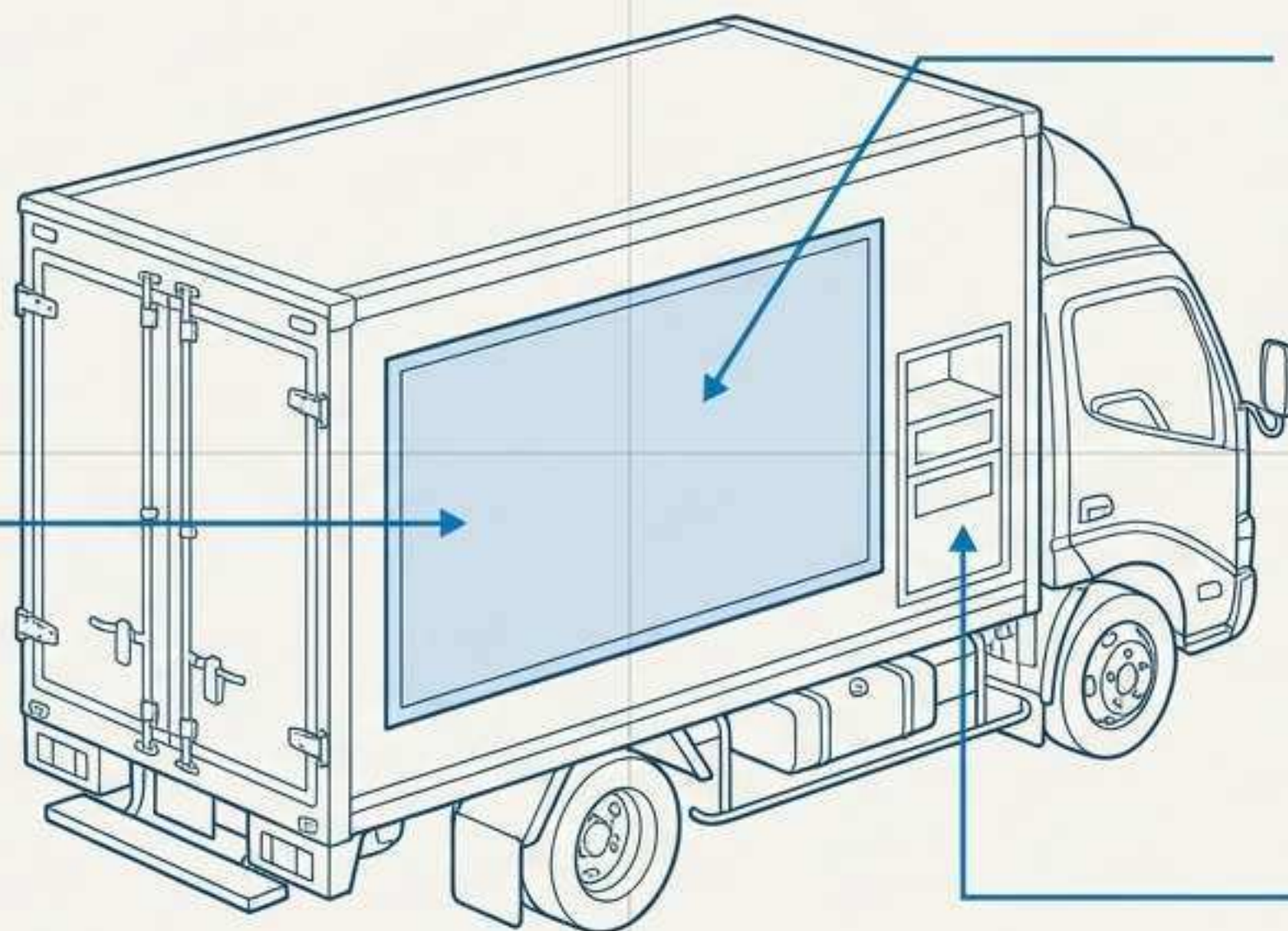
設置場所

運転者席より後方であること。



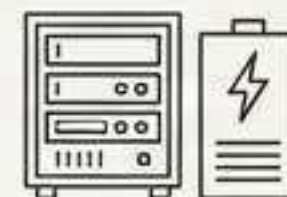
走行中の表示禁止

走行中は映像を表示しない構造であること。



表示面積

連続した 2m^2 以上の表示面積を有すること。



関連装置

車室内に映像再生・調整装置、動力源（又は動力受給装置）を有すること。

PART 3: キャンピングトレーラー

キャンピングトレーラーの定義

「キャンプをすることを目的とした被けん引自動車」

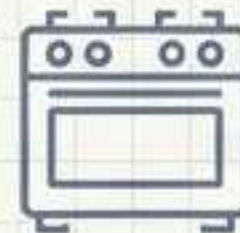
キャンピングトレーラーの構造要件は、多くがキャンピング車の規定を準用しますが、重要な相違点があります。



構造要件のポイント：キャンピング車との比較

キャンピング車の要件を準用

就寝、水道、炊事の各設備は、基本的にキャンピング車の要件を準用する。



就寝設備

1 名分以上の大人用就寝設備で可。

大人用寝台の寸法（1.8m x 0.5m）はキャンピング車と同じ。

水道・炊事設備

タンク容量、調理台寸法、有効高さ1,600mmの要件はキャンピング車と同じ。

最重要留意事項 キャンピングトレーラーに備える座席は、乗車定員を算定しないものとする。

構造要件の要点まとめ

| 要件項目 (Requirement) | キャンピング車 (Camping Car) | 放送宣伝車 (Broadcasting Vehicle) | キャンピングトレーラー (Camping Trailer) |
|-----------------------|--------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 就寝設備 | 乗車定員の1/3以上 | 不要 | 大人用1名分以上 |
| 水道設備 | 10L給排水タンク、洗面台 | 不要 | 要（キャンピング車に準ずる） |
| 炊事設備 | コンロ、調理台 | 不要 | 要（キャンピング車に準ずる） |
| 使用空間 | 有効高さ 1,600mm | 不要 (放送者席は1,200mm) | 有効高さ 1,600mm |
| 専用設備 | - | 音声又は映像設備 | - |
| 物品積載 | 不可 | 不可 | (規定なし) |



公式情報源

本ガイドで解説した構造要件は、以下の国土交省通達に基づいています。
最終的な法令解釈や詳細については、必ず原文をご確認ください。

出典

国土交通省 自動車局長通達「道路運送車両の保安基準の細
目を定める告示【2022.12.23】別添4」

文書名

用途区分通達4－1－3（4）の自動車